



年 組 名前

道新でワークシート

フラミンゴ 巣作りするかも？

旭川市旭山動物園で、夏季営業初日の27日に「フラミンゴ舎」がリニューアルオープンするのに先立ち、新施設が25日、報道陣に公開された。施設全体を網で覆うことで飛べるようにするほか、巣作りのための泥場も設け、フラミンゴの自然な姿を来園者に紹介する。

フラミンゴ舎は1997年に完成し、2016年11月から工事などのため一般公開していなかった。これまでには、片方の風切羽を定期的に切って飛べなくすることで、高さ約1.2㍍の柵で囲って飼育していた。

新施設では、高さ約8㍍の網で囲むとともに、羽の処理を中心止。これに伴い、「万が一」に備えて夜間に屋内施設に収容する必要がなくなり、昼夜同じ場所で過ごせることで落ち着いて繁殖できる環境を整えた。巣作り用の泥場約11平方㍍も用意。飼育担当の中田真一さん(51)は「巣作りや産卵、繁殖につながる可能性があり楽しみ」と期待

旭山動物園に新施設

高さ8㍍、泥場も設置

を込める。

この他、ヤギ、ヒツジなどを飼育することも牧場から独立させた「ニワトリ・アヒル舎」をクジャク舎向かいに整備した。羽ばたいて高さ1㍍ほどの止ま

り木に飛び乗るニワトリや、泳ぐアヒルの足の動きをプール側面から観察できる。

また、東門につながる坂「ゆっくりロード」にはエゾタヌキ、エゾクロテンなど道内の小動物を集めたコーナーをつくった。

(宗万育美)



夏季営業からリニューアルオープンするフラミンゴ舎(宮永春希撮影)

2019年4月26日朝刊旭川・上川版（記事は再編集しています）

- ①「フラミンゴ舎」をリニューアルする前と後でどのような違いや変化があるでしょうか。
()に入る数字や文字を書きましょう。

リニューアル前

- ・高さ約()㍍の()で囲って飼育。
- ・片方の風切羽を定期的に()。
- ・夜間に屋内施設に収容する必要あり。
- ・昼と夜で違う場所で過ごしていた。

リニューアル後

- ・高さ約()㍍の()で囲んで飼育。
- ・羽の処理を()。
- ・夜間に屋内施設に収容する必要()。
- ・昼夜()で過ごせる。
- ・巣作り用の泥場約()平方㍍も用意。



- ②リニューアルしたことで、飼育員にはどのような期待がありますか。記事を読んで想像して書きましょう。